教育研究業績書

2025年05月07日

所属： 社会情報学科　　資格： 准教授　　氏名： 和泉　志穂

研究分野	研究内容のキーワード
総合領域（生活科学），人間情報学（デザイン学）	色彩情報，乳幼児，ファッション，消費行動，感性情報，ライフスタイル
学位	**最終学歴**
博士（情報メディア学）	武庫川女子大学大学院　生活環境学研究科　生活環境学専攻　博士後期課程　修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1.幼児・小学生向けWSの実施	2025年4月13日	科目：卒業研究 廣田神社（西宮市）にて実施された”第29回ひろたのいちイロドリ”にて、学生が企画した日焼け止めの販売とWSを企画・運営した。大雨のなか屋外で実施されたため，出店をキャンセルを店舗が多い中，販売数は伸び悩んだものの，WSへの参加者も一定数確保することができた。
2.小学生向け日焼け止めの販売	2025年2月15日～16日	科目：卒業基礎研究 第7回武庫女スマイルフェスにおいて，ゼミで商品企画を行った女子小学生向け日焼け止めを販売するブースの出店と，購入者特典のモールドール作りのWSを実施した。2025年2月2日よりオンラインサイトでのみ販売となった商品を対面で販売することで，消費者のみなさんの声を直接拾うことができる貴重な機会となった。2日間で合計120個を販売することに成功した。
3.幼児・小学生向けWSの実施	2025年2月15日～16日	科目：卒業基礎演習Ⅱ・プロジェクト演習Ⅲ（希望者） 「MUKOJOミライ☆ラボ」の企画として、ららぽーと甲子園にて実施された第7回武庫女スマイルフェスにて「親子で楽しむ☆わくわくワーク」を実施した。親子で「キラキラレインボースティック作り」を体験してもらうことで、少しでも理科や算数に興味をもってもらうことを目的にワークショップを企画・運営・実施した。一連の行程全てを学生たちで担うことで、事前のシミュレーションやコミュニケーションの重要性を直接学ばせることができた。
4.幼児・小学生向けWSの実施	2024年11月23日	科目：プロジェクト演習Ⅲ 廣田神社（西宮市）にて実施された”第28回ひろたのいちイロドリ”にて、子ど向けWSと物販店舗の企画・運営を行った。初めての屋外でのイベント実施ではあったが，実施コンテンツの決定から予算計画，当日の運営方法までの一連を学生が主体となり考え，当日の客足をみながら臨機応変にブースを変更しながら実施した結果，学生が立てていた当日の目標値を越える結果となった。
5.幼児・小学生向けWSの実施	2024年5月26日	科目：卒業基礎演習Ⅰ 廣田神社（西宮市）にて実施された廣田のエシカルマルシェにて、地元印刷会社の端材を利用した紙ふうりんづくりのWS（各30分×5回）を企画・運営した。臨機応変に対応するスキルやコミュニケーション力の重要性を直接学ばせることができた。参加者は80人程度（幼児・小学生40人、保護者40人）。
6.プロジェクションマッピングとファッションアプリの作成・展示	2024年3月～10月	科目：卒業基礎研究・卒業基礎演習Ⅰ・卒業基礎演習Ⅱ 武庫川女子大学社会情報学部榎並ゼミと東京電機大学システムデザイン工学部小篠研究室と共にMUCHUプロジェクトを実施している。本年度は「メタバース」をメインテーマに、動画生成AIを利用したメタバース旅

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
		行を目的としたプロジェクションマッピングと、メタバース空間で着用する服のテンプレートを手持ちの服を撮影するだけで作成することができるアプリの実装を行い、文化祭にて展示を行った。来場者は800名を超える結果となった。
7.幼児・小学生向けWSの実施	2024年2月17日・18日	科目：卒業予備演習 「MUKOJOミライ☆ラボ（旧 ひょうご理系女子未来塾）」の企画として、ららぽーと甲子園にて実施された第6回武庫女スマイルフェスにて「親子で楽しむ☆わくわくワーク～キラキラを作って持ち帰ろう！～」を実施した。親子で「レインボースティック作り」と「キラキラスライム作り」を体験してもらうことで、少しでも理科や算数に興味をもってもらうことを目的にワークショップを企画・運営・実施した。一連の行程全てを学生たちで担うことで、事前のシミュレーションやコミュニケーションの重要性を直接学ばせることができた。参加者は240人（子ども129人、保護者111人）。
8.プロジェクションマッピングと生成AIのデザイン画衣装再現の展示	2023年3月～10月	科目：卒業基礎研究・卒業基礎演習Ⅰ・卒業基礎演習Ⅱ 武庫川女子大学社会情報学部榎並ゼミと東京電機大学システムデザイン工学部小篠研究室と共にMUCHUプロジェクトを実施した。本年度は「いのち」をメインテーマに、歌詞・新聞コラムなどからデータマイニングによりキーワードを抽出し、対応したプロジェクションマッピング映像と衣装デザインを生成AIに作成させた。デザイン画に関しては衣装に仕上げた。いずれも文化祭にて展示を行い、キーワードが伝わっているのか検証を行った。来場者は700名を超える結果となった。
9.幼児・小学生向けWSの実施	2023年2月18日～19日	科目：卒業予備演習 JST採択「ひょうご理系女子未来塾」の企画として、ららぽーと甲子園にて実施された第5回武庫女スマイルフェスにて「親子で楽しむ☆わくわくワーク～色と科学の不思議を持ち帰ろう！～」を実施した。「キラキラボトル」と「マーブルしおり作り」を通して、科学の楽しさや面白さに気付いてもらうワークショップを企画・運営・実施した。企画から運営まで全てを学生たちで行うことで、一連の準備やコミュニケーションの重要性を直接学ばせることができた。参加者は238人（子ども125人、保護者113人）。
10.幼児・小学生向けWSの実施	2022年10月23日	科目：卒業予備演習 廣田神社（西宮市）にて実施された廣田のエシカルマルシェにて、地元印刷会社の端材を利用したハロウィンスティッキづくりのWS（各30分×5回）を企画・運営し、コロナ禍の対面イベントではあったが、一連の準備の重要性やコミュニケーション能力の重要性を直接学ばせることができた。参加者は80人程度（幼児・小学生40人、保護者40人）。
11.小学生向け科学WSの実施	2021年2月1日～3月31日	科目：卒業予備演習 JST採択「ひょうご理系女子未来塾」の企画として、ららぽーと甲子園にて実施された第3回武庫女スマイルフェスにて「親子で楽しむ☆わくわくワーク」をオンラインで実施した。小学校低学年は「しゅわ！しゅわ！バスボム作り」、中学年は「ふってかんたん！アイスクリーム」、高学年は「手のひらでおどる♪もちぷるせっけん」というタイトルで、身近なものを利用した体験により科学の楽しさに気付いてもらうワークショップを企画・運営・実施した。低学年・中学年はYoutubeを利用した動画配信＋WSキットの配布を、高学

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
		年はリアルタイム会議システム（Zoom）を用いた双方向型＋WSキット配布により、従来の対面型とは異なるコロナ禍ならではの手法で企画から運営まで全てを自分たちで行うことで、一連の重要性を直接学ばせることができた。
12.ネスレ日本株式会社との共同プロジェクト	2020年10月2日～2021年3月31日	科目：卒業基礎演習Ⅱ JST採択「ひょうご理系女子未来塾」の企画であるネスレ日本株式会社との共同プロジェクトにゼミとして参加し、コーヒーの新しい可能性を追求するPBL活動を行った。その成果は、中間審査会、最終審査会を経て、2021年2月1日～3月31日に実施された第3回武庫女スマイルフェスにて、ポスター展示とにYoutubeによる動画配信にて行った。
13.小学生向け科学WSの実施	2019年8月7日～8日	科目：卒業基礎研究、卒業基礎演習Ⅰ 2019年2月に実施した「親子で楽しむ☆ワクワクワーク」が盛況であった実績により、ららぽーと甲子園より依頼を受け「夏休み応援企画　わくわく自由研究2019」を実施した。小学校低学年は「びっくり☆スライム3変化」、中学年は「10円玉ピカピカ大作戦」、高学年は「ジュースからDNAを取り出そう！」というテーマで、学年を細分化し身近なもので自由研究を行うことで、小さな発見から科学の楽しさに気付いてもらうワークショップ（60分×3回×2日）を企画・運営・実施した。小学生に難しいことを易しく、易しいことを深く、深いことをいかに面白く伝えるか、発見させるかに着眼した。参加者は183人（子ども104人、保護者79人）。
14.地域活性を目指した産学連携プロジェクト	2019年4月～2021年3月	科目：卒業基礎研究・卒業基礎演習Ⅰ・Ⅱ ゼミ生が西宮市の地域活性を目的とした産学連携として、廣田神社（西宮市）、植物セラピーあろあろ（伊丹市）、株式会社ロータリービジネス（豊中市）と共同し、新たな授与品や写真映えスポットの商品開発・イベント企画や、2020年度の完成を目指し、ARを使用したインバウンド対応企画を計画している。授与品は2020年1月1日より廣田神社にて授与が開始された。 （「地域を対象とした連携推進事業」採択課題）
15.商品開発と販売体験	2019年2月16日～17日	科目：卒業基礎研究 ゼミ生が産学連携として2018年夏より、植物セラピーあろあろ（伊丹市）、株式会社ロータリービジネス（豊中市）と共同し、武庫川女子大学をイメージしたパウダリーアロマとギフト用のパウダリーアロマの新商品開発を行った。実際にららぽーと甲子園にて店頭販売も行ったことで、開発した商品に対するお客様との会話の中で、直接的な情報収集も行うことができ、今後の商品開発につながるヒントを得るきっかけにもなった。（2日間の店頭販売で350個販売、その後も販売した）
16.小学生向け科学WSの実施	2019年2月16日～17日	科目：総合演習Ⅱ JST採択「ひょうご理系女子未来塾」の企画として、ららぽーと甲子園で実施された武庫女スマイルフェスにて「親子で楽しむ☆わくわくワーク」を実施した。万華鏡とスライムを作るワークショップ（30分×5回×2日）の企画から運営まで全てを自分たちで行うことで、一連の重要性を直接学ばせることができた。参加者は378人（子ども228人，保護者150人）。
17.小～高校生向け科学WSの実施	2018年5月2日～3日	科目：卒業基礎研究 JST採択「ひょうご理系女子未来塾」の企画として、武庫川女子大学附属中高で実施された2018武庫川フェスティバルにて「ひょうご理系未来塾サイエンスカフェ」として、「バスボム作り」（40分×3回）のワー

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
		クショップを実施した。企画から運営まで全てを自分たちで行うことで、一連の重要性を直接学ばせることができた。
18.実演を導入した座学授業の実施	2018年～現在	科目：衣生活情報論 衣生活の基本である衣に関する内容を説明する際、実際に実演を導入している。2Dでは理解しにくい内容も、3Dかつ目の前で実演することで、衣の仕組みなどの理解を深め知識が定着するように工夫している。
19.小学生向け科学WSの実施	2017年8月8日	科目：卒業基礎研究 「2017朝小サマースクールin武庫川女子大学」にて、JST採択「ひょうご理系女子未来塾」の企画として「しゅわしゅわ☆バスボムをつくってみよう！」（30分×5回）を実施した。科学の楽しさを伝えるにはどうすればよいか、ワークショップ実施までの全てを考え実施運営することで、ターゲットを見据えた企画立案の必要性と、実施することで見えてきた課題に即時に対応する力を身につけさせる一助となった。
20.アクティブ・ラーニングの実施	2015年～2017年	科目：色彩情報、色のふしぎ 色彩の知識習得にあたり、知識を受動的に学ぶのではなく、実際に学んだものを生活の中から見つけ出し、体験し、他の学生とディスカッションやPBLを行うことで、能動的に知識を身につけることができるよう授業展開や課題を設定した。
21.復習テストの実施	2011年～2016年	科目：オフィスツールの基礎 授業の始めに、LMS(μCam)を利用した復習テストを実施した。前週までの内容を範囲とし、授業で修得する技術とは別に、専門用語などの必要知識の定着を目的とした。
22.課題による双方向授業の実施	2011年～2012年度	科目：色彩情報演習Ⅱ 講義内容の理解を深めるために、前半は理論に関する講義を行い、その後は実際に配色カードなどを用いた演習を行っている。毎週提出の課題は、できるだけ翌週には全て正誤チェックを行い、何が間違っていたかなどをその都度コメントを記入し返却を行った。
2 作成した教科書、教材		
1.オンデマンド型授業用動画の作成	2021年5月11日～2022年	科目：色彩情報論、色彩情報(1)(2)、衣生活情報論、感覚の情報 COVID-19により授業形式が対面でなくなったことに伴い、リアルタイム双方向型授業の録画動画や、オンデマンド型授業用動画を作成・公開した。
2.『あなたの今が未来を創る―暮らしのマネジメント―』	2020年7月末日	日本家政学会生活経営学部会関西地区会編 家政学・家庭科における生活経営学分野用のテキスト第3章「お金のマネジメント―あなたはどう支払う？どう活かす？」（pp.15-22）の執筆と全体のDTPを担当した。
3.『近未来の暮らしのマネジメント―15のテーマから考える生き方―』	2018年4月27日	日本家政学会生活経営学部会関西地区会として，10名の教員で家政学・家庭科における生活経営学分野用のテキストを出版した。第5章「お金のマネジメント」pp.24-29の執筆と全体のDTPを担当した。
4.復習問題出題システム	2018年～現在	科目：色彩情報論、色彩情報(1)(2) 専門用語など必要知識の定着を目的に、LMSを利用した復習問題出題システムを構築した。授業で修得する知識だけでなく、自身でも調べることで回答できるレベル設定にしている。インターネット上でいつでも登録者は使用できるため、隙間時間での学びを可能としている。
5.裁縫実習キット	2016年～2018年	科目：家庭科概論、教科指導法（家庭） 家庭科実技の一つである裁縫に関する知識を修得するための簡易裁縫キットを受講者分準備し活用した。初学者が指導者として学ぶ基本的な技術を体得して積み

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
6.プリント教材	2011年度～2017年度	上げることで一つの作品が完成するように工夫した。 科目：色彩情報 色彩の基礎を学ぶにあたり必要な知識の定着をはかるべく、授業後に各自で実施する問題プリント教材を作成した。90分の授業で学んだことから派生した内容も含めることで、能動的に取り組む内容となるよう工夫している。
7.プリント教材	2010年度～2011年度	科目：色彩情報演習Ⅱ 教科書の代わりとして、要点の解説とワークシートを複合させたプリント教材を制作した。教材は最新情報に改定しながら、著作権の関係で配布できない資料はスライドを利用して見せるなどして、学生により身近な事例を提示する工夫を施した。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1.色彩検定協会「文部科学大臣賞」受賞	2025年3月7日	文部科学省後援 色彩検定において特に優秀な成績をおさめたとして、団体としてその功績が表彰された。
2.色彩検定協会「文部科学大臣賞」受賞	2024年3月8日	文部科学省後援 色彩検定において特に優秀な成績をおさめたとして、団体としてその功績が表彰された。
3.色彩検定協会「文部科学大臣賞」受賞	2023年3月10日	文部科学省後援 色彩検定において特に優秀な成績をおさめたとして、団体としてその功績が表彰された。
4.色彩検定協会「文部科学大臣賞」受賞	2022年3月11日	文部科学省後援 色彩検定において特に優秀な成績をおさめたとして、団体としてその功績が表彰された。
5.色彩検定協会「文部科学大臣賞」受賞	2021年3月12日	文部科学省後援 色彩検定において特に優秀な成績をおさめたとして、団体としてその功績が表彰された。
6.色彩検定協会「文部科学大臣賞」受賞	2020年3月9日	文部科学省後援 色彩検定において特に優秀な成績をおさめたとして、団体としてその功績が表彰された。
7.色彩検定協会「UC級優秀賞」受賞	2019年3月18日	文部科学省後援 色彩検定UC級において特に優秀な成績をおさめたとして、個人としてその功績が表彰された。
8.色彩検定協会「優秀団体賞」受賞	2019年3月18日	文部科学省後援 色彩検定において特に優秀な成績をおさめたとして、団体としてその功績が表彰された。
9.授業改善奨励賞 受賞	2018年9月28日	2018年前期の授業において、より良い授業方法の工夫と実践に精巧し大学の教育の質の向上に大きく貢献したとして、学長より授業改善奨励賞を受賞した。
10.色彩検定協会「優秀団体賞」受賞	2018年3月12日	文部科学省後援 色彩検定において特に優秀な成績をおさめたとして、準団体としてその功績が表彰された。
11.色彩検定協会への準団体登録	2017年～現在	色彩の授業を受講をきっかけに色彩検定取得を目指す学生を対象に、願書の取りまとめや合格証書配布などの事務作業（団体受付窓口業務）を行うとともに、特別学期の時間や業務外の時間で対策講座などを実施している。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1.色彩検定協会認定色彩講師（UC級講師資格）	2019年02月23日	内閣府認定公益社団法人色彩検定協会が主催する認定講師養成講座を終了し、かつ色彩講師としての色彩の知識と講師として必要な幅広い知識と高い指導力を身につけた者に認定する資格。2018年冬季より開始されたUC級講師資格を取得。
2.UCアドバイザー	2019年01月16日	内閣府認定公益社団法人色彩検定協会が認定するUC（色のユニバーサルデザイン）能力資格。
3.色彩検定協会認定 色彩講師	2016年10月01日	内閣府認定公益社団法人色彩検定協会が主催する認定講師養成講座を終了し、かつ色彩講師としての色彩の知識と講師として必要な幅広い知識と高い指導力を身につけた者に認定する資格。
4.Microsoft Office Specialist 2013 Master	2016年03月22日	Microsoftが複数のOfficeアプリケーションスキルを認定する国際資格。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
5.1級色彩コーディネーター	2013年01月	内閣府認定公益社団法人色彩検定協会が認定する色彩活用能力資格。
6.高等学校一種（情報）教員免許	2004年03月31日	平15高1第1439号
7.高等学校一種（家庭）教員免許	2004年03月31日	平15高1第1257号
8.中学校一種（家庭）教員免許	2004年03月31日	平15中1第809号
9.上級情報処理士	2004年03月31日	全国大学実務教育協会が認定する情報通信技術資格。
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1.女性活躍総合研究所 次世代女性人材育成部門リーダー	2025年4月1日～現在	産学官の連携で、次世代を担う女性人材を育成するための取り組みを行う部門のリーダーとして、MUKOJOミライ☆ラボの企画・運営を実施。
2.ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）検討メンバー	2023年4月1日～現在	令和5年度に本学が選定された文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」の研究推進部門（次世代女性リーダー育成の加速化）の一員として活動中。
3.社会情報学科学院親睦会委員	2023年4月1日～2025年3月31日	社会情報学科の学院親睦会委員として、武庫川学院の教職員が集う歓迎会等のサポートを行った。
4.西宮市共通単位講座 講師	2021年4月14日	西宮市共通単位講座で開講された「情報・メディア・社会」の1講座を担当。色彩情報とユニバーサルデザインについて講義した。
5.女性活躍総合研究所 次世代女性人材育成部門サブリーダー	2021年4月1日～2025年3月31日	産学官の連携で、次世代を担う女性人材を育成するための取り組みを行う部門のサブリーダーとして、MUKOJOミライ☆ラボの企画・運営を実施。
6.出前授業 企画運営	2021年3月8日	西宮市立上甲子園中学校で実施した「トライやる・ウィークStart up講座」の企画・運営・当日サポートを行った。当日は、6機関9人の講師に登壇していただいた。
7.日本フードサービス学会優秀論文賞受賞	2020年6月6日	日本フードサービス学会に投稿した論文「外食における大学生の店舗選択行動および消費行動に関する考察―SNS時代における感性消費を背景に―」が優秀論文賞を受賞した。
8.情報メディア学科学校教育センター委員	2020年4月1日～9月	情報メディア学科学校教育センター委員として、本学及び学科の教員養成に関わる業務に従事した。
9.研究発表会 指導助言・講評	2020年2月12日	西宮市立西宮高校で行われた「2019年度74回生G・S科テーマ研究中間発表会」に、指導助言・講評者として参加した。
10.進路個別相談会 相談員	2019年11月9日	理化学研究所神戸キャンパスにて行われた理系志望の女子中高大生の個別相談会に、相談員として参加した。
11.香り商材とARを活用した神社をモデルケースとした地域活性事業	2019年6月～2020年3月	武庫川女子大学教育研究社会連携推進室が実施する「地域を対象とした連携推進事業」に採択され、ゼミ生と共に現在取り組んだ。
12.模擬授業 講師「情報メディアと色彩」	2019年5月31日	兵庫県立有馬高等学校による大学見学の一環として、高校1年生を対象にした模擬授業を実施した。
13.出前授業 企画運営	2019年3月14日	西宮市立学文中学校で実施した「トライやる・ウィークStart up講座」の企画・運営を行った。当日は、8機関9人の講師に登壇していただき、振り返りとまとめの時間を担当した。
14.出前授業 企画運営	2019年2月25日	西宮市立上甲子園中学校で実施した「トライやる・ウィークStart up講座」の企画・運営・当日サポートを行った。当日は、6機関10人の講師に登壇していただいた。
15.サマースクール宿泊研修スタッフ	2018年8月7日～8日	JST採択「ひょうご理系女子未来塾」が企画・運営するサマースクール宿泊研修にスタッフとして参加した。
16.模擬授業 講師「情報メディアと色彩」	2018年6月1日	兵庫県立有馬高等学校による大学見学の一環として、高校1年生を対象にした模擬授業を実施した。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
17.「鳴松会の日」幹事	2018年5月25日	武庫川学院の卒業生全員が入会する卒業生組織である鳴松会が行うホームカミングデー「鳴松会の日」総会にて平成30年度役員の一部改選について報告者として登壇した。
18.模擬授業 講師「情報メディアと生活」	2018年4月26日	兵庫県立西脇高等学校による大学見学の一環として、高校3年生を対象にした模擬授業を実施した。
19.情報メディア学科広報入試委員	2018年4月1日～2020年3月31日	情報メディア学科広報入試委員として、本学及び学科の広報入試に関わる業務に従事した。2018年度は神戸サンボーホールでの大学総合説明会に大学を代表して参加。2019年度は徳島と香川にて行われる大学総合説明会に大学を代表して参加した。
20.シンポジウム 司会	2018年3月17日	JST採択「ひょうご理系女子未来塾」の公開シンポジウムにて、司会進行を行った。
21.理系の仕事体験サポート	2018年3月10日	JST採択「ひょうご理系女子未来塾」の企画である、中学生を対象とした仕事体験企画「キッザニア甲子園で理系の仕事に挑戦！」の企画・運営を行った。
22.出前授業 講師「カラー・マーケティング入門」	2018年3月5日	兵庫県立明石高等学校との高大連携授業の一環として、高校1年生を対象にした出前授業を実施した。
23.座談会 司会	2017年7月15日	JST採択「ひょうご理系女子未来塾」の企画「卒業生との座談会」において司会を務めた。
24.西宮市共通単位講座 講師	2017年5月3日	西宮市共通単位講座で開講された「情報メディア論」の1講座を担当。生活の中に見る色彩情報について講義した。
25.武庫川女子大学生活美学研究所 研究員	2017年4月1日～2022年3月31日	武庫川女子大学生活美学研究所に研究員として所属していた。
26.女性研究者支援センター女子中高生理系支援部門サブリーダー	2017年4月1日～2020年3月31日	女性研究者支援センター女子中高生理系支援部門のサブリーダーとして、JST採択「ひょうご理系女子未来塾」のイベント企画運営から実施までの実務を担当した。
27.情報メディア学科学院親睦会委員	2017年4月1日～2019年3月31日	情報メディア学科の学院親睦会委員として、学院親睦旅行や新年互礼会、歓迎会などに関わる業務に従事した。
28.情報メディア学科FD委員	2017年4月1日～2018年3月31日	情報メディア学科FD委員として、本学及び学科のFDに関わる業務に従事した。
29.生涯学習講座 講師「生活のなかにみる色彩」	2015年11月14日	猪名川町（兵庫県）の生涯学習講座を履修している町民に対して開講されている市民講座にて講師を務めた。
30.要旨集レイアウト	2015年7月25日～26日	第57回意匠学会大会発表要旨集のレイアウトデザインを担った。
31.日本繊維製品消費科学会 2015年度年次大会 若手優秀発表賞 受賞	2015年6月	日本繊維製品消費科学会の2015年次大会で発表した「自動車をケースとした消費者の感性価値に関する研究――複数の感覚項目の関係性および性差・世代差からの検討」が評価され、若手優秀発表賞を受賞した。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1.ユーザの感性と製品・サービスをむすぶ： 真意を聞き出すアンケート設計と開発・評価事例	共	2018年12月21日	サイエンス＆テクノロジー株式会社	氏田壮一郎 他32名 和泉志穂、赤岡仁之 第5章第3節 〔3〕「消費者属性を考慮した自動車使用時に重視する感覚評価項目の研究」を担当執筆した。
2 学位論文				
1.ポストモダン・マーケティングの視点を取り入れたカラー・マーケティングの体系化に向けた研究	単	2016年03月	武庫川女子大学大学院生活環境学研究科博士学位論文	21世紀に入り，色鮮やかで彩り豊かな時代が再び到来している。市場転換期において色彩はその重要性が増しているが，これまでに，商業学を基礎とした色彩研究を体系化する研究はあまりみられない。そこで本研究では，色彩とマーケティングのこれまでの潮流を整理し，カラー・マーケティングの体系化を行うことを目的とした。体系化にあたり着目したのが，経験と感情，および感性に着目

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2 学位論文				
				したポストモダン・マーケティングである。結果，色彩を用いた包括的な研究の必要性を示唆し，大きな枠組みとしての感性（五感）マーケティングにおける色彩の重要性を示した。
3 学術論文				
1.Twitterを用いたアウトプット型学習における日々の発信数グラフの効果について	共	2023年3月	日本教育工学会 2023年春季全国大会 講演論文集，pp.459-460	山本あすか，尾関基行，和泉志穂 学んだことを発信して記憶に定着させるアウトプット型学習にTwitterを利用するアプローチがある。我々は，そのTwitterの発信状況を学習者グループ単位でまとめてウェブページに一覧表示することで，学習者の発信へのモチベーションを維持する方法について研究してきた。本稿では，23人の学生に対して8週間に渡って実験を行い，日々の発信数をグラフで表示することの効果などについて調べた結果を報告した。
2.地域と連携した出前授業の実践報告～中学生を対象としたキャリア教育の試み～（査読付）	共	2022年12月	武庫川女子大学女性活躍総合研究所紀要，第1号，pp.13-22.	長谷川裕紀，山下紗矢佳，和泉志穂，山本晶子 武庫川女子大学「ひょうご理系女子未来塾」では，女子生徒の理工系進路選択を支援するために，2018年から地域の中学校と連携した出前授業を実施している。本稿では，2021年に実施した出前授業について，アンケート調査の結果から，効果と課題について検討した。出前授業は文理選択前の中学生に対して，理工系進路意識を高めることが示唆された。
3.Twitterを用いたアウトプット型学習の可視化改善に向けたインタビュー調査について	共	2022年10月8日	日本教育工学会 研究報告集，2022巻3号，pp.84-90（DOI：https://doi.org/10.15077/jsetstudy.2022.3_84）	山本あすか，尾関基行，和泉志穂 学んだことを発信して記憶に定着させるアウトプット型学習の一つにTwitterを利用したTweet-to-Learnがある。我々は，Tweet-to-Learnの発信状況を学習者グループ単位でウェブページに一覧表示することで，学習者のモチベーションを維持する方法について研究してきた。本稿では，学習者26人を対象に行った先行実験において，「発信を継続できなかった理由」と「どうすれば発信を継続できそうか」の2点を明らかにするために追加で実施した半構造化インタビューについて報告した。
4.Twitterを用いたアウトプット型学習における発信状況の可視化と発信の継続性についての考察	共	2022年5月25日	日本教育工学会 研究報告集、2022巻1号、pp.44-51（DOI：https://doi.org/10.15077/jsetstudy.2022.1_44）	山本あすか，尾関基行，和泉志穂 本研究では，学習者の主体的な学びにおける「Twitterを用いたアウトプット型学習（Tweet-to-Learn：学んだことや考えたことをツイートする）」のモチベーション維持のために，その発信状況を学習グループ単位で可視化する方法を検討している。具体的には，各学習者のツイートやそれに対するリアクションの数を一覧表示するウェブページを生成し，他の学習者の発信状況と比較できるようにする。本稿では，Twitterを教育目的で用いている関連研究をまとめ，本研究の位置づけを示した上で，著者らのゼミに所属する大学生26人を対象に実施した3か月間の実践結果を報告した。
5.ディスプレイ色に対する季節感の時代変化（査読付）	単	2019年12月	武庫川女子大学生活美学研究所『生活美学研究所紀要』第29号,pp.163-175	近年，スマートフォンの普及が進み，人々のディスプレイ画面との接触時間が大幅に増加している。そこで，現在の人々がディスプレイ上の色に対しどのように季節感を感じているのかを調査することを目的に,色光の三原色である赤(R),緑(G),青(B)を用い,それぞれに対する春,夏,秋,冬という季節感をどのように感じているのかを定量的に評価し,2009年の調査と比較検討を試みた。
6.外食における大学生の店舗選択行動および消費行動に関する考察－SNS時代における感性消費を背景に－（査読有）	共	2019年12月	日本フードサービス学会『日本フードサービス学会年報』第24号,pp.24-39	和泉志穂，赤岡仁之，井上重信 本研究では,「食に対し理性よりも感性を重視し,ストーリーを自ら構築することで外食を楽しむ消費者が登場してきている（仮説）」として,外食店舗選択時の重視項目（理性重視／感性重視）と店舗でのストーリー消費行動の分類（オリジナル型／カスタマイズ型）の2軸を用いることで消費者を4類型化し,仮説を検証した。大学生という限定された対象ではあるが，SNS時代における消費行動の一端を4類型化することにより，次世代を担う消費行動として，感性カスタマイズ型という象限に該当するカテゴリーリーダーの萌芽と特徴を示した。
7.自動車をケースとした消費者の感性価値に関する研究――複数の感覚項目の関係性および性差・世代	共	2015年7月	日本繊維製品消費科学会論文誌『繊維製品消費科学』Vol.56(7),pp.613-619	和泉志穂,赤岡仁之 今日,注目されている感性価値と消費者行動研究に焦点を当てた。特に,消費者の商品購買時ではなく,商品使用時における感性価値の重要度の程度を,自動車(乗用車)をケースとして検討した(本研究では,車体色などの視覚,車内の臭いなどの嗅覚,エンジン音などの聴

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
差からの検討（査読付）			（DOI：https://doi.org/10.11419/senshoshi.56.7_613）	覚,シートの素材感などの触覚)。さらに,五感の感覚項目の重要性の程度をみるだけではなく,それらの感覚項目における精査や世代差の比較検討も行った。
8.自動車をケースにした色彩とマーケティングに関する研究（査読付）	単	2014年11月	武庫川女子大学生活美学研究所紀要,第23号,pp.115-125	近年,自動車(乗用車)や衣服などさまざまな商品において豊富なカラーバリエーションが商品の付加価値や企業の広告戦略として利用されている。そこで本研究では,色彩とマーケティング戦略との関連性を把握するための試みとして,日本の自動車市場をケースとした研究を行った。自動車の車体色の変遷を,企業のマーケティング戦略と消費者の選択の観点から整理することにより,色彩が果たしてきた役割を高度経済成長期,安定成長期,バブル期,成熟期の経済的時代区分により整理した。
9.PC画面上で見る三原色の季節感について（査読付）	共	2009年11月	武庫川女子大学紀要(自然科学編),第57号,pp.17-23	伊佐治せつ子,和泉志穂 近年,漫画やイラスト,広告パンフレットなど視覚的表現の多くに画面上の色が用いられている。そこで本研究では,PC画面上における色の季節感を調べることを目的とし,色光の三原色である赤(R),緑(G),青(B)を用いて,それぞれに春,夏,秋,冬の色の季節感を定量的に評価することを試みた。画面上でRGB値を各8段階に変化させ,サーストンの一対比較法を用いた尺度評価を行い,季節感を定量的に現し,L*a*b*表色系による彩度との関係を調べた。
10.リハビリテーションとしてのパチンコ・パチスロにおける福祉的側面の研究（査読付）	単	2007年11月	武庫川女子大学生活美学研究所紀要,第17号,pp.72-82	大阪府下の高齢者関連施設858施設を対象に,パチンコ台設置に関する高齢者関連施設への実態調査(調査Ⅰ)とパチンコ遊戯前後における高齢者の表情変化調査(調査Ⅱ),高齢者と施設関係者への遊戯に対する意識調査(調査Ⅲ)を行った。そこから,遊びながらリハビリテーションを行う「遊びリテーション」としてのパチンコ・パチスロ遊戯の可能性を提案し,日本の大衆文化(娯楽)の福祉的側面からのアプローチを試みた。
11.Javaアプレットによるプログラミング教育の取り組み	共	2004年12月	武庫川女子大学情報教育センター年報2003,第12号,pp.20-28	福井哲夫,高松芽衣,和泉志穂,西田幸加 本論文では,武庫川女子大学生活環境学部情報メディア学科のJavaプログラミング教育について,指導の有効性と学生の興味やつまづきやすい点を,提出された半期にわたる課題のプログラミング文字数などを全てカウントすることから調査し,考察を与えた。
その他				
１．学会ゲストスピーカー				
２．学会発表				
1.青色の食べ物に対するネガティブイメージの再検討ー2016年の調査と比較してー	共	2025年3月28日	R6日本色彩学会関西支部大会 開催場所：Web上開催	吉田涼南・和泉志穂 近年，日本では青色の食べ物がSNS映えすると話題になり，目にする機会が増えている。しかし，従来の研究では青色が食欲を低下させる傾向が報告されている。その一因として，青色の食べ物の喫食経験や目にする機会が少ないことが挙げられているが，現在ではその機会が増加し，青色に対するネガティブイメージが低下している可能性がある。本研究では，青色の食べ物がトレンドになる以前の2016年調査と類似の調査を2024年に実施し，比較することで青色の食べ物に対するイメージの再検討を行った。その結果，2016年調査と比較して，青という色相に対するネガティブなイメージは低減されていないことが示された。しかし，トーン別に見ると，2016年調査でネガティブに評価されていたlightトーン・vividトーンのネガティブイメージが大きく低減し，light grayishトーン・dullトーン・darkトーンではネガティブイメージが増加していることが示された。
2.乳児の食行動に養育者の色情報が与える影響に関する検討	共	2024年8月24日	日本赤ちゃん学会第24回学術集会 開催場所：東京大学	和泉志穂，榎並直子 乳児とその養育者2名を対象に、7色の着用色を用い、離乳食介助を各7日間ずつ実施した動画データを、YOLOを用いて姿勢推定を行うことで移動量を算出し、離乳食介助時の色の影響を積極性という軸から検討した結果を報告した。
3.養育者の着用色による離乳食介助への影響	単	2024年5月24日	日本家政学会第76回大会 開催場所：椙山女	乳児とその養育者2名の着用色と離乳食介助に関する調査結果を報告した。今回は、第1期調査としてデータが揃った5家族の結果を時間的な観点から分析を行った結果について報告した。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
4.女子大学生のCOVID-19流行前後でのファッションに対する意識の変化	単	2023年5月27日	学園大学 日本家政学会第75回大会 開催場所：東京家政大学	COVID-19の流行により人々は外出の機会を奪われマスクの着用を余儀なくされた。このような意図しない環境の急激な変化に伴い，人々のファッションに対する意識はどのように変化をしたのか，ファッションに対する意識が高いとされる女子大学生を事例にその変化を検討した。ファッションに対する好嫌度として「とても好き」「好き」「やや嫌い」と判定した学生は，COVID-19の流行前後でファッションをより楽しいと感じていることが示された。一方で，「どちらでもない」と判定した学生はファッションを面倒なものであると感じていることが示唆された。
5.Twitterを用いたアウトプット型学習における学習者グループ単位での発信状況の可視化について	共	2021年10月17日	日本教育工学会 2021年秋季全国大会 講演論文集、pp. 443-444	山本あすか，尾関基行，和泉志穂 学習者の学びをTwitter で発信するというアウトプット型学習において、同じ課題に取り組む学習者グループの発信状況をまとめてウェブサイト上で可視化するというアプローチの効果について、筆者らの大学のゼミで実施した4ヶ月間の実践を通して調査した。アンケート評価の結果は学習者によって分かれたものの、学習者の性格によっては、可視化サイトで他の学習者の進捗状況を知ることが学びのアウトプットのモチベーション維持に繋がることが示唆された。
6.消費者の購買行動における高級感に対する意識と商品色の世代間比較	単	2021年6月19日	日本繊維製品消費科学会2021年年次大会 開催場所：Web上開催	若年層が情報収集・発信も含めた購買行動として利用するSNS上で見られる高級感には，淡い赤や青，透明のように，これまでの説とは異なる色が出現してきているように感じる。そこで本研究では，高級感に対する意識と高級感を感じる商品色を世代により比較検討することを目的とした。 新人類世代とゆとり世代を対象にアンケート調査を実施した結果，高級感を重視する商品および商品色を高級感の要素として重視する商品が世代により異なること，高級感を感じさせる商品色には世代差があることが示唆された。
7.女子大学生のファッション情報取得ツールの変化ーファッションへの好意度とコーディネートに対する意識からの検討ー	単	2020年06月20日	日本繊維製品消費科学会2020年年次大会 開催場所：紙上開催	ファッション情報の検索において，これまで認知度・使用頻度共に高かったファッション誌やブランド公式サイトの活用は低下し，InstagramやTwitterなどのSNSや，YouTubeなどの動画共有サイトを活用する新たな情報処理プロセスが登場してきていることが考えられる。そこで本研究では，デジタルネイティブ世代でありファッションへの関与が高いとされる女子大学生を対象に，ファッションへの好意度とコーディネートに対する意識（得意/不得意）から，大学生のファッション情報取得ツールを整理することで，SNS時代における新たな消費者像を類型化できることを確認した。
8.大学生の外食店舗選択行動および消費行動に関する考察ー性差・地域差からの検討ー	単	2020年05月31日	日本家政学会第72回大会 開催場所：紙上開催	大学生の情報探索手段としての検索ツールは,検索エンジンからSNSの活用へと変化している。そこで,大学生の外食店舗選択行動と消費行動の傾向を,性差と地域差により検討することで,新たな外食に対する消費行動の傾向を見出すことを目的とした。 首都圏と京阪神奈に住む17大学に通う日本人大学生にアンケート調査を実施した結果,性差により外食に求めるものが異なること,また,情報の取り扱いに差があることが示された。また､地域差により,外食店舗情報検索に用いるツールが異なることが示唆された。
9.外食における大学生の店舗選択行動および消費行動に関する考察－SNS時代における感性消費を背景に－	共	2019年06月08日	第24回日本フードサービス学会年次大会 開催場所：東京海洋大学品川キャンパス	和泉志穂，井上重信，赤岡仁之 本研究では,「食に対し理性よりも感性を重視し,ストーリーを自ら構築することで外食を楽しむ消費者が登場してきている（仮説）」として,外食店舗選択時の重視項目（理性重視／感性重視）と店舗でのストーリー消費行動の分類（オリジナル型／カスタマイズ型）の2軸を用いることで消費者を4類型化し,仮説を検証した。発表では,消費者を類型化することで見えてきた外食におけるカテゴリーリーダーの存在を明確にするとともに,外食店舗における効果的なマーケティング戦略のあり方に言及した。
10.自動車をケースとした消費者の感性価値に関する研究――複数の感覚項目の関係性および性差・世代	共	2015年06月	日本繊維製品消費科学会年次大会 開催場所：信州大学	和泉志穂，赤岡仁之 本研究では，今日注目されている感性価値と消費者行動研究に焦点を当てた。特に，消費者の商品購買時ではなく，その使用時における感性価値の重要度を，自動車（乗用車）をケースとして検討した（本研究では，車体色などの視覚，車内の臭いなどの嗅覚，エンジ

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
差からの検討				ン音などの聴覚，シートの素材感などの触覚）。さらに，五感の感覚項目の重要性の程度をみるだけではなく，それらの感覚項目における性差や世代差の比較検討も行った結果を報告した。
11.若い女性にみる「やる気」を発揮させる配色についての一考察	共	2011年06月	日本繊維製品消費科学会年次大会 開催場所：武庫川女子大学	和泉志穂，伊佐治せつ子 本研究では，単色ではなく「配色」における人のやる気を発揮させる効果について調査した。まず，単色でやる気を発揮させる色として調査を行った結果，赤，橙，黄，ピンク，の4色で全体の約88%を占める結果となった。そこで，この4色と無彩色の白，黒を合わせた合計6色を採用し，30通りの配色パターンを作成した。SD法でイメージ調査を行った結果，単色と配色では，やる気を感じさせる色が異なること，また，やる気を発揮させる配色にどのような法則があるかを報告した。
12.高級感を感じる配色	共	2010年10月	日本家政学会関西支部第32回研究発表会 開催場所：兵庫県立大学	和泉志穂，伊佐治せつ子 本研究では，高級感をもたらす色について，単色と2色配色のそれぞれのケースにおいて，そのイメージの特徴を明らかにし，配色効果がもたらす高級感を検討することを目的とした。PCCS色票から23色（無彩色3色，有彩色20色）を抽出し，SD法で単色における高級感と2色配色における高級感のイメージ調査を行った。結果，単色と2色配色の場合で，それぞれ高級感をもたらす色相とトーンを明らかにし，さらにその要因として3つの因子を抽出し，単色と2色配色での高級感について報告した。
13.女性ヤング誌にみる“かわいい”の表現	共	2010年06月	日本繊維製品消費科学会年次大会 開催場所：実践女子大学	和泉志穂，伊佐治せつ子 現在，諸外国でも注目されている“かわいい”とう表現は，近年，若者（特に女性）の間では何に対しても，また，どのような場面でも使用されている。そこで本調査では，若い女性が“かわいい”という言葉をどのような対象物に対して使用しているのかを明らかにすべく，2007～2009年の女性ヤング誌に“かわいい”と表現されているファッションアイテムを抽出した。そして，種類，色，柄，素材，形，トーンについて，アイテム別“かわいい”表現の要素と経年変化を調査した結果を報告した。
14.PC画面上で見る色の季節感について	共	2009年10月	日本家政学会関西支部第31回研究発表会 開催場所：京都女子大学	和泉志穂，伊佐治せつ子 近年，漫画やイラスト，広告パンフレットなど視覚的表現の多くに画面上の色が用いられている。そこで本研究では,PC画面上における色の季節感を調べることを目的とし,色光の三原色である赤(R),緑(G),青(B)を用いて,それぞれに春,夏,秋,冬の色の季節感を定量的に評価することを試みた。画面上でRGB値を各8段階に変化させ,サーストンの一対比較法を用いた尺度評価を行い,季節感を定量的に現し,L*a*b*表色系による彩度との関係を調査した結果を報告した。
３．総説				
1.色を題材とした子ども向けワークショップ	単	2024年8月	『色彩学』3/3, pp.132-134	総説・解説（学会誌） 特集「色彩学の体験授業・導入教育事例」の一つとして、幼児・児童を対象とした大学生主体の色彩ワークショップの実践事例とその教育効果について報告した。
2.色彩学講義におけるオンライン化の効果と課題	単	2020年11月1日	『日本色彩学会誌』44/6, pp. 270-272	総説・解説（学術雑誌） 色彩学講義におけるオンライン化の効果と課題について，COVID-19により遠隔授業を余儀なくされた2020年度前期の担当授業を事例を報告した。
3.Withコロナにおける色彩の「今」	共	2020年11月1日	『日本色彩学会誌』44/6, p.258	木村敦・和泉志穂 総説・解説（学術雑誌） Withコロナにおける色彩の「今」として，景観色彩やマスク色による色彩心理，スライド作成や授業運営に関する内容を総説としてとりまとめた。
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1.企業インタビュー第12回「信頼と情熱『アートが変わる』」株式会社NHK	共	2023年8月20日	日本色彩学会学会誌Vol.2(3), pp. 141-147	和泉志穂，松田博子 株式会社NHKアートにインタビューを行い，その内容を報告記事としてまとめた。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
アート				
2.私の色彩History	単	2023年8月	内閣府認定公益社団法人色彩検定協会『aftジャーナル』pp.12-13.	色彩検定協会主催の講師認定講座を終了後からこれまでの色彩に関わる活動について報告をした。
3.企業インタビュー第10回「学びは資本であり，色彩はそのきっかけとなる」一般社団法人 TOCOL	共	2022年8月20日	日本色彩学会学会誌Vol.1(3)，pp.163-169	松田博子，和泉志穂 一般社団法人TOCOLにインタビューを行い，その内容を報告記事としてまとめた。
4.先達から聞く若手研究者向け国際学術交流！－国際的研究の進め方－		2021年5月30日	日本家政学会第73回年次大会	若手の会・国際交流委員会共催セミナーとして実施した「先達から聞く若手研究者向け国際学術交流！－国際的研究の進め方－」の第二部懇親・懇談会会場（第5ルーム）の司会・進行を担当した。
5.ブランドイメージによる製品色彩設計の決定に関する研究	単	2021年1月31日	『日本色彩学会誌』45/1，p.6	Color Research and Application (CRA) 掲載論文　Xinxin Zhang, Minggang Yang, Jianning Su, Wenjin Yang, Kai Qiu ”Research on product color design decision driven by brand image” CRA 45-6-19：1202-1216の抄録翻訳を行った。
6.学生の色と感情の関連性に関する研究	単	2020年11月1日	『日本色彩学会誌』44/6，p.289	Color Research and Application (CRA) 掲載論文　Ümit Demir ”Investigation of color‐emotion associations of the university students” CRA 45-5-8：871-884の抄録翻訳を行った。
7.外食における大学生の店舗選択行動および消費行動に関する考察－SNS時代における感性消費を背景に－	共	2019年2月20日	日本フードサービス学会第5回研究部会（研究助成中間報告会） 会場：JFセンター会議室	和泉志穂，赤岡仁之，井上重信 2018年度に採択された研究助成の中間報告会に参加し，大学生を被験者に実施した外食店舗選択に関するインタビュー調査とアンケート調査の概要について報告した。
8.生活美学研究の今後(3)――生活美学基礎理論確立の試み	共	2016年12月	武庫川女子大学生活美学研究所紀要,第26号,pp.151-169	森田雅子,和泉志穂 生活美学研究の今後として,生活美学基礎理論を確立すべく，嗅覚の「美」と「醜」について，日誌形式の調査を基に定量分析と質的分析で比較検討を行った結果を報告した。
9.色の三属性	単	2016年9月	A.F.T.色彩講師養成講座 会場：色彩検定協会大阪本部	[模擬講義] 色の三属性について初学者を想定した模擬講義を行った。
10.自動車のユニバーサルデザイン	単	2016年8月	A.F.T.色彩講師養成講座 会場：色彩検定協会大阪本部	プロダクトデザインと色彩について，自動車のユニバーサルデザインにおける色彩を分析した。過去に行った調査研究のデータも用いながら，今後の自動車におけるユニバーサルデザインの方向性などについて示唆した。
11.ソフィスティケート	単	2016年8月	A.F.T.色彩講師養成講座 会場：色彩検定協会大阪本部	ファッションイメージのひとつであるソフィスティケートとはどのようなものか，対象イメージと隣接イメージからその差を明確にしたイメージマップを作成し考察した結果を発表した。
12.エルメスと高知家にみるブランディングデザイン	単	2016年7月	A.F.T.色彩講師養成講座 会場：色彩検定協会大阪本部	ブランドとして圧倒的な地位をもつエルメスと，近年，共創マーケティングとして登場した高知家を取り上げ,ブランディングと色彩について報告した。
13.住宅の色彩――好悪	単	2016年7月	A.F.T.色彩講師養成講座 会場：色彩検定協会大阪本部	甲子園周辺の住宅にみる好悪な配色事例とその要因について，日本塗料工業会の色票を用いて視感測色し考察した結果を報告した。
14.色の表示(Yxy値)とxy色度図	単	2016年6月	A.F.T.色彩講師養成講座 会場：色彩検定協会大阪本部	[模擬講義] 色の表示(Yxy値)とxy色度図についての模擬授業を，色彩検定1級受験希望者を想定した実践的な教材を作成し，指導案例を提示しながら行った。
15.“遊び”としてのパチンコ・パチスロについての研究	単	2006年5月	財団法人中山隼雄科学技術文化財団研究費報告会 会場：虎ノ門パス	研究助成を受けた財団法人中山隼雄科学技術文化財団にて，遊びとしての日本の大衆文化（パチンコ・パチスロ）の福祉学的側面からの研究報告を行った。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
			トラル(東京)	
６．研究費の取得状況				
1.乳児の食行動に養育者の着用色情報が与える影響に関する実証研究	単	2022年9月～2024年3月	科学研究費補助金　研究活動スタート支援　課題番号：22K20292	代表
2.トークンエコノミーを活用したアクティブラーニングのための新しい学習評価方法の研究	共	2019年4月～2023年3月	科学研究費補助金 基盤研究(C) 課題番号:19K03020	分担（研究代表者：尾関基行）
3.外食における大学生の店舗選択行動および消費行動に関する考察ーSNS時代における感性消費を背景にー	共	2018年度	日本フードサービス学会	和泉志穂、井上重信、赤岡仁之 日本フードサービス学会と一般社団法人日本フードサービス協会が協同で創設した研究助成制度で採択された。
4.“遊び”としてのパチンコ・パチスロについての研究	単	2005年4月～2006年3月	財団法人中山隼雄科学技術文化財団	人間と遊びに関する研究一般を助成する助成研究B（遊びの研究等）で採択され，研究費を取得した。

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
1.2024年9月～現在	日本色彩学会カラーデザイン研究会 幹事
2.2022年8月～2024年8月	日本家政学会 生活経営学部会 関西地区役員
3.2020年6月～2024年6月	日本色彩学会 学会誌編集委員会 委員
4.2020年04月～現在	武庫川女子大学女性活躍総合研究所 所員
5.2018年12月～現在	日本家政学会 若手の会 幹事
6.2018年7月～2020年8月	日本家政学会 生活経営学部会 関西地区役員
7.2018年05月～現在	日本フードサービス学会 会員
8.2016年06月～現在	日本色彩学会 会員
9.2016年04月～現在	日本家政学会 生活経営部会 会員
10.2016年04月～現在	日本家政学会 会員
11.2016年04月～現在	内閣府認定 色彩検定協会（A.F.T.） 色彩講師会員
12.2016年4月～2023年3月	武庫川女子大学生活美学研究所 所員
13.2013年04月～現在	日本繊維製品消費科学会 会員
14.2011年04月～2013年03月	日本家政学会 関西支部若手の会 幹事